

越路のしあわせって？

3年生は総合的な学習の時間に、「見つけよう越路のみりよく つくろう越路のしあわせ」をテーマに、越路地域の施設や取組について調べたり、地域の人と交流したりしています。

学校の近隣にある、障害のある方を支援する施設「みのわの里・更生園」、お年寄りを支援する施設「こしじの里」を訪問し、施設の様子を見たり、利用者と触れ合ったりしました。また、社会福祉協議会の方を学校に招き、地域の福祉活動について話を聞いたり、「体の不自由さ体験」をしりました。

「話相手になりたい。」「お年寄りとお交流してみたい。」「行事のお手伝いをしてみたい。」「思っていたよりも動くことが大変で見え方が違うことに驚いた。」「困っている人の手伝いをしたい。」「など、見学や体験を通して、子どもたちは様々な思いをもつことができました。

ながおか し りつこし し にししょうがっこう 長岡市立越路西小学校

した。夏前には、「みのわの里の夏祭り」のおめんや飾りづくりのお手伝いをして、交流の喜びを感じることができました。

今後も交流活動を継続し、「越路のしあわせ」につながる活動を目指して取り組んでいきます。



「いつもと見え方が違うね」
一体の不自由さ体験—

交流を通して育む思いやりの心

本校では、児童が地域の一人として何ができるかを考え、共に生きる気持ちを育むことを目的に、地域のお年寄りの方々と幼児たちと様々な交流活動を行っています。

年に1回、児童が、校区内の集会所に地域の「お年寄りの方々が集まる「いきいきサロン」を訪問します。そこで、お年寄りの方々に喜んでもらえるような企画を児童が考え、一緒に活動します。昨年度は、練習した合唱や合奏、ダンスや群読の発表をしたり、七夕飾り作りや、トランプやかるた、ジェスチャー遊びを行ったりして、お年寄りの方々と親しく交流することができました。また、学区内の保育園児たちとも交流を進めています。昨年度は、縦割り班で企画した遊びの店を回るサマーフェスタに園児たちを招待したり、児童が保育園を訪問し、児童が考えた遊びを一緒にしたりして、仲を深めることができました。

ながおか し りつ ひ よししょうがっこう 長岡市立日吉小学校

活動を通して、「相手を喜ばせたい」という思いから、児童は主体的に企画や準備を進め、自ら積極的にコミュニケーションを取るようになりました。また、相手と関わる中で、必要な配慮や接し方があることを理解し、自分の関わり方を見直すきっかけとなっていました。



七夕飾りを一緒に作る児童と地域のお年寄りの方々

主体的に支え、認め合う！学校にあふれる「思いやりの輪」

ながおか し りつわきの まちしょうがっこう 長岡市立脇野町小学校

当校では「思いやり」を意識した教育活動を展開しています。

① ハートほかほかカードでの交流
友達への感謝や友達の頑張りをカードに書いて渡します。認められる喜びが児童の自己肯定感を育み「次も優しくしよう」と、主体的に人のために動くようになる姿が見られます。また、カードを入れるウォールポケットを学級に掲示し、いつでも他の児童の温かい表現や工夫に触れることで、互いに認め合い、高め合う心の広がりや温かな言葉の交流につながり、豊かな人間性を育んでいます。

② 運動会前の石拾い・草取りボランティア
奉仕委員会が中心となり、行事の前に自分たちの手で会場となるグラウンドの環境を整えようと呼びかける活動です。高学年が下学年を優しくリードしながら、「みんなが安全に競技できるように」という思いに、多くの

児童が賛同し、楽しんで活動に参加しています。「みんなのために」という主体的な思いやりが学校全体に広くあふれています。

これらの活動を通して、互いを認め合い、学校や仲間のために自ら考え行動できる児童の育成をこれからも進めていきます。



石拾いボランティアの様子

広がる地域貢献と足元の思いやり

ながおか し りつこし し ちゅうがっこう 長岡市立越路中学校

かを考えて主体的に行動しています。

「成果と今後」
これらの活動を通して、生徒たちは人とつながる温かさや貢献する喜びを実感しています。今後も校内外問わず、温かい思いやりの輪を広げていきます。



小学校の運動会運営をサポートする生徒の様子

笑顔でつながるボランティア

ながおか し りつ み しまじゅうがっこう 長岡市立三島中学校

「越後みしま竹あかり街道」は、地域の方々と交流や三島の伝統を知る機会となりました。今年度も「一人一ボランティア活動」を全校生徒に呼びかけ、多くの生徒が夏休みの活動に参加しています。

＜みしま園花壇整備＞
前日の雨が地面を濡らし、植物も生き生きとする中、施設職員の皆様とともに活動しました。夏の日差しを浴びながら、花壇に生える雑草を丁寧に抜き取りました。活動後はほどよい疲れと達成感に笑顔が見られました。

＜花壇の水やり＞
7月に奉仕委員会が花壇の花植えを行いました。奉仕委員が登校後水やりを行い、色鮮やかな花を咲かせました。昨年度は生徒たちの活動により、朝顔がたくさん咲きました。今年の夏休みも学校に来校された皆様の目を楽しませてくれました。

＜配食サービス＞
配食サービスでは、午前中に地域ボランティアの方々と協力して、調理の手伝いをしました。アドバイスをもらい、食べやすい大きさに切ったり、きれいに盛り付けたりしました。完成後は配達に同行し、少し緊張しながらも笑顔で手渡すことができました。



みしま園 花壇整備

「共に生きる力」を育む ～ふだんのくらしのしあわせってなんだろう～

私たちが毎日過ごしている「ふだんのくらし」には、たくさんの「しあわせ」があります。

朝、家族と「おはよう」とあいさつを交わすこと。友達と一緒に遊んだり、勉強したりできること。安心して過ごせる家で眠れること。こうした何気ない日常は、当たり前のよう思えても、実はとても大切で、かけがえのない「しあわせ」です。

「ふくし」を考えるときに大切なのは、この「ふだんのくらしのしあわせ」を、自分のこととして受け止めることです。

「ふくし」は、特別な人だけのものではありません。私たち一人ひとりの毎日の暮らしの中にあり、誰もが安心して、自分らしく生活できるように支え合うことです。そして、「しあわせ」は自分一人だけでつくるものではありません。

友達が困っていたら声をかける。悲しそうながいたら気にかかる。助けてもらった「ありがとう」と伝える。そんな小さな思いやりや支え合いの積み重ねによって、みんなが安心して暮らせる地域や社会が育まれ、「共に生きる力」へとつながっていきます。

あなたにとって、「ふだんのしあわせ」とは何でしょう。

今日、身の回りにある小さな「しあわせ」を一つ見つけてみませんか。

